

研究区分	教員特別研究推進 教育推進
------	---------------

研究テーマ	総合食品学講座による実学的教育				
研究組織	代表者	所属・職名	食品栄養科学部・准教授 (総合食品学講座 事業推進委員)	氏名	伊藤 創平
	研究分担者	所属・職名	食品栄養科学部・教授 (総合食品学講座 事業推進委員)	氏名	三浦 進司
		所属・職名	食品栄養科学部・教授 (総合食品学講座 事業推進委員)	氏名	新井 英一
	発表者	所属・職名	食品栄養科学部・准教授 (総合食品学講座 事業推進委員)	氏名	伊藤 創平

講演題目	総合食品学講座による実学的教育
研究の目的、成果及び今後の展望	<p>平成20年度に産学人材育成パートナーシップ事業として始まった総合食品学講座は、静岡県内の食品会社の中核人材の育成が目的であったが、講義会場を静岡県立大学食品栄養科学部に移動したことを契機に、学生にも門戸を開放している。本講座は食品の加工・製造技術をはじめ、衛生管理手法や消費者対応、マーケティングに至るまでの、食品業界に関する実務的・実践的内容の構成であり、講師は第一線の実務者である。大学や大学院では聴講する機会がない実践的な内容が多く、県大のみならず食品系の学部学生、大学院生の教育への活用が期待できる。本年度の総合食品学講座は、例年通り、7月下旬から10月下旬まで、静岡県立大学を中心に、県工業技術研究所での実習を交え、3ヶ月にわたって開催された。特に、集中講義期間に、食品栄養科学部3学科の学生の興味が強い、マーケティング、病院食、食品の安全性等の講義を設定、述べ人数で140名弱の学生が受講した。所定の基準を満たした社会人受講生に、フーズ・サイエンスセンター長より修了証書が授与された。アンケート調査による受講生の講座への満足度は総じて高く、学生の受講生からも、講義内容に感銘を受ける声が寄せられ、食品工業に関する実践的知識への関心が高い事が伺えた。来年度も、学科の教育方針に沿った講座をピックアップし、集中講義期間に行う事で、学生が参加しやすい時期で開催する予定である。また、地域貢献の面からも、実学的教育推進の面からも、大学として存続させる価値のある講座である。</p>